

2011 環境報告書

Environmental Report 2011



豊臣機工株式会社

会社概要

社名	豊臣機工株式会社
創立	1960年 9月 (昭和35年)
本社所在地	〒446-8558 愛知県安城市今本町東向山7番地 電話 (0566)-97-9131
資本金	481,157,500円 (2011年 3月現在)
国内工場	3工場 (本社工場、額田工場、いなべ部品工場)
従業員数	1,432人 (2011年 3月) (期間社員含む)
事業内容	自動車用塑性加工部品の製造及びプレス金型の設計・製作
ホームページ	http://www.toyotomi-kiko.co.jp/

ごあいさつ

当社の事業内容は、自動車ボデー関係を主体とした量産部品と旧型モデルの補給外板部品（フェンダー・ドア・クォータなど）の生産を行っています。

またプレス金型の設計・製作や試作部品のZAS型プレス・板金など、多岐に渡って事業を展開しております。

『環境』への取り組みは、地球温暖化・増大する廃棄物などの環境問題が社会的な課題となっている昨今、当社自らの生産活動に伴う資源やエネルギーを節約することによって、環境への負荷を軽減することが必要だと決意し、環境方針・スロガンなどを決め、第三次環境取り組みプランを掲げ、全員参加による環境保全活動の継続的改善に取り組んでいます。



豊臣機工株式会社 取締役社長

星 宏一

工場一覧

本社工場



所在地 愛知県安城市今本町東向山7
敷地面積 160,500 m²
従業員数 1,193人(期間社員含む)

額田工場



所在地 愛知県岡崎市榎山町字広表23
敷地面積 75,900 m²
従業員数 152人(期間社員含む)

いなべ部品工場

所在地 三重県いなべ市員弁町字茨谷2223-1
従業員数 77人(協力社員含む)

(但し、環境活動は
トヨタ車体(株)様と共同)

主な製品

自動車用
補給パーツ

自動車用
量産部品

バンパー



リヤクォーター



サスペンション



センターメンバー



フェンダー



フロントドア



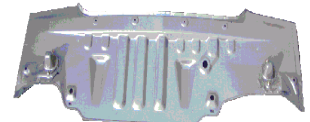
ラゲージドア



リヤドア



ロアバック



大開口ルーフ



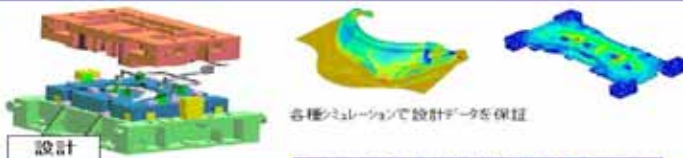
フード



センターピラー



自動車用
金型
・設計・製作



環境方針

当社では、『環境方針』を定め、並びに社内標語募集を行った『スロ - ガン』を掲げて、環境保全活動の維持・継続的改善に取り組んでいます。

* 2001年5月にISO 14001 国際規格の認証を取得いたしました。

環境保全活動スローガン

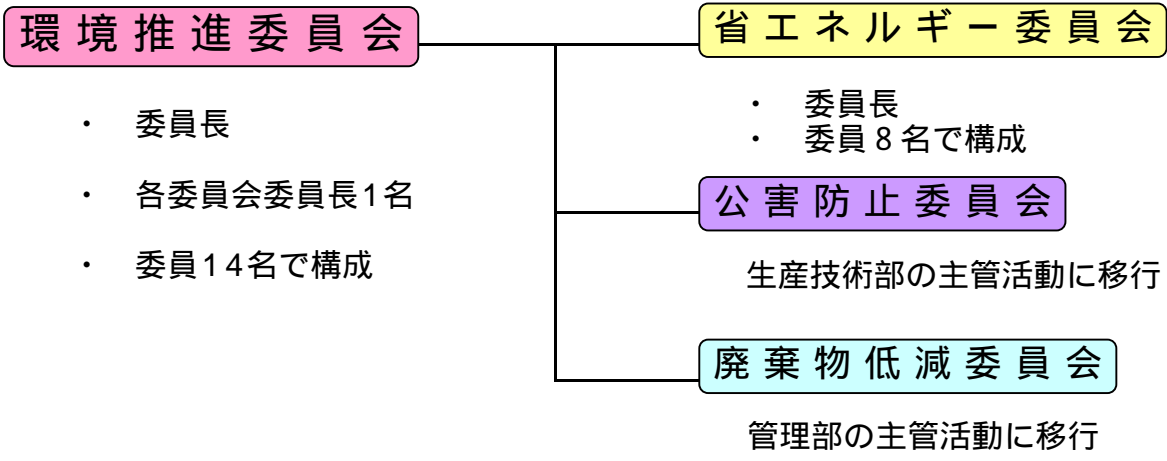
明日の地球を考える
みんなが主役の環境活動

環境方針

1. 国、地方公共団体等の環境に関する法規及びその他の要求事項を遵守し、汚染の予防に努めます。
2. 生産活動により環境へ及ぼす影響を予測、評価して環境保全のための目的、目標を設定、達成するための活動を推進し、状況により目的、目標の見直しを実施します。
3. 会社が行う事業活動が、環境に影響を与える以下の項目について活動に取り組みます。
地球温暖化防止のため、工場・オフィスの使用エネルギーの節減を推進します。
資源の有効活用のため、排出物の削減と再資源化を推進します。
環境汚染の防止を図るため、化学物質等の適切な管理に努めます。
4. 地域社会との環境調和を図ると共に、環境方針の定期的な見直しを実施して継続的改善を行います。
5. 環境方針の実効をあげるため、計画的に教育・啓蒙活動を行い全従業員への周知徹底を図ります。

星 宏 一

推進体制



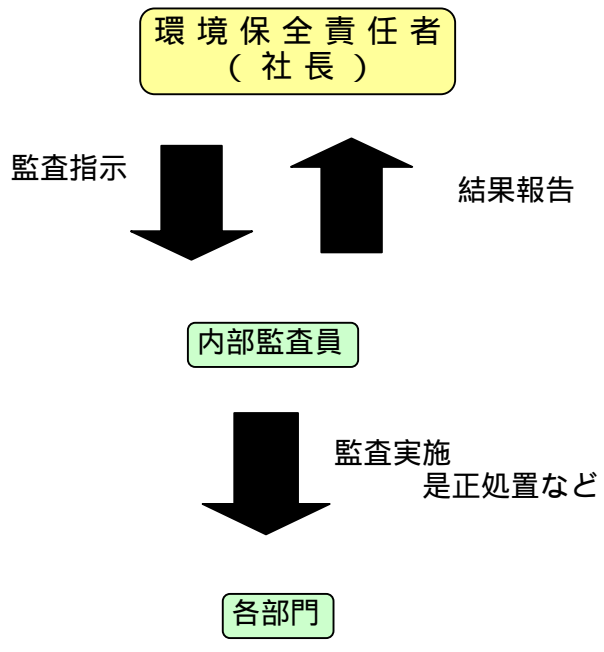
環境マネジメントシステムと ISO14001への対応

- ISO14001 国際規格の認証取得状況**
- 1999年11月より、環境マネジメントシステム構築に取り組んできました。
 - 2001年5月にISO14001国際規格の認証を取得
 - 2004年5月に認証登録を更新
 - 2007年5月に認証登録を更新
 - 2010年5月に認証登録を更新

登録証 (有効期限 2013年5月)



環境マネジメントシステム監査
(環境内部監査のしくみ)



環境マネジメント

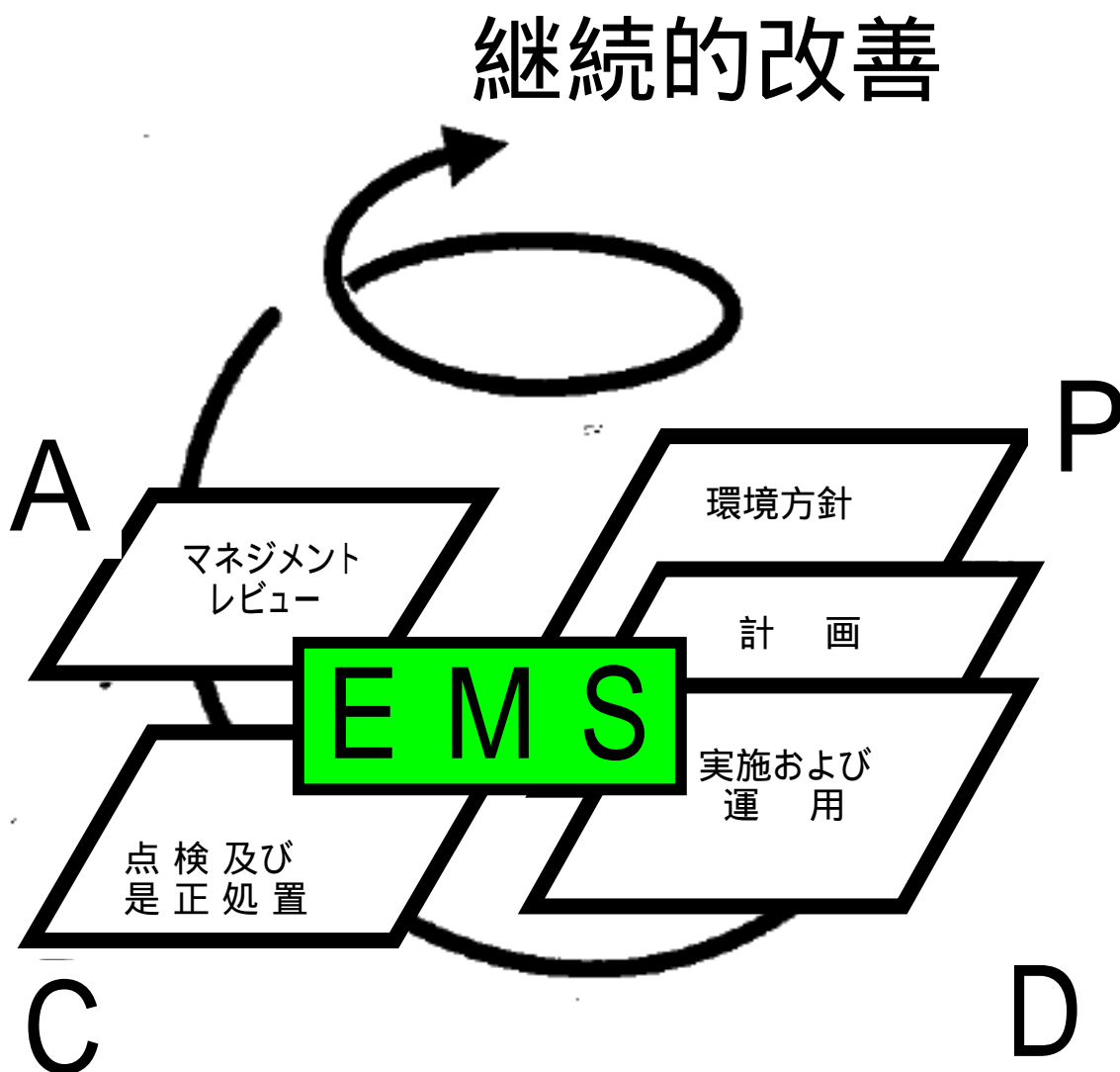
環境保全取り組み

第三次環境取り組みプラン（2006年度～2010年度）

環境取り組みプランの制定は、環境に関する取り組みを全社的な体系化を図ることで、着実に反映していくために制定しました。

第三次環境取り組みプランは、2006年度～2010年度までの環境対応を推進するためのものです。


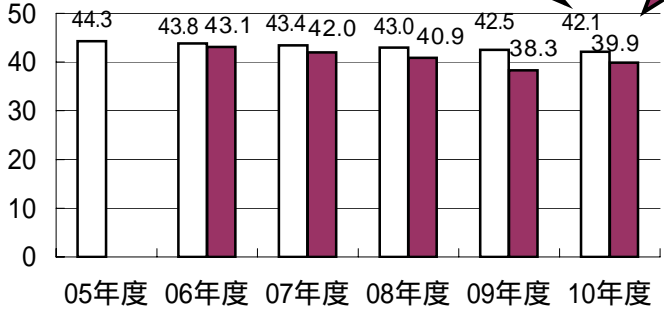
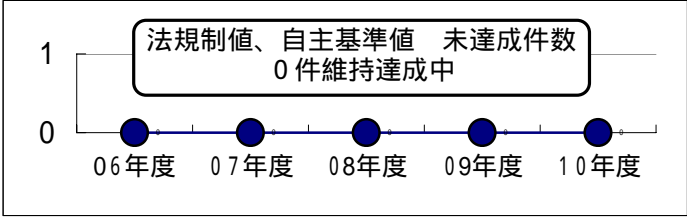
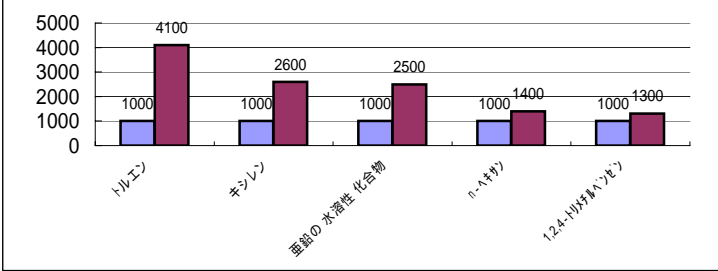
ISO14001国際規格の認証取得



環境マネジメント

環境保全取り組み

第三次環境取り組みプラン (2006 ~ 2010年度) 及び2010年度活動実績

取り組み項目	評価指標と実績																					
<p>省エネルギー委員会</p> <p>エネルギーを効率的に使用し、電力、燃料の低減を行い、地球温暖化防止に寄与する</p> <p>【主な取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ CO₂レーザー機の冷凍機からの循環水化 ・ 天井照明電気量の見える化 ・ 溶接機冷却循環水のインバータ化、 ・ 太陽光発電の導入 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 10px;">太陽光発電システム</div>   </div>	<p>【CO₂排出量】</p> <p>環境目的 10年度までに 売上げ高当り 05年度実績比 5.0%低減</p> <p>09年度目標 42.5 t-Co₂/億円 以下 09年度実績 38.3 t-Co₂/億円 で目標達成 (05年比 11%低減)</p> <p>(トン-Co₂/億円) CO₂排出量(売上げ高当り)推移</p> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 10px;">目標値</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-left: 10px;">実績値</div> </div>  <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <caption>CO₂排出量(売上げ高当り)推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標値 (トン-Co₂/億円)</th> <th>実績値 (トン-Co₂/億円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>05年度</td> <td>44.3</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>06年度</td> <td>43.8</td> <td>43.1</td> </tr> <tr> <td>07年度</td> <td>43.4</td> <td>42.0</td> </tr> <tr> <td>08年度</td> <td>43.0</td> <td>40.9</td> </tr> <tr> <td>09年度</td> <td>42.5</td> <td>38.3</td> </tr> <tr> <td>10年度</td> <td>42.1</td> <td>39.9</td> </tr> </tbody> </table>	年度	目標値 (トン-Co ₂ /億円)	実績値 (トン-Co ₂ /億円)	05年度	44.3	-	06年度	43.8	43.1	07年度	43.4	42.0	08年度	43.0	40.9	09年度	42.5	38.3	10年度	42.1	39.9
年度	目標値 (トン-Co ₂ /億円)	実績値 (トン-Co ₂ /億円)																				
05年度	44.3	-																				
06年度	43.8	43.1																				
07年度	43.4	42.0																				
08年度	43.0	40.9																				
09年度	42.5	38.3																				
10年度	42.1	39.9																				
<p>公害防止委員会</p> <p>大気、水質、臭気、騒音、振動の定期測定と自主基準値管理による異常の未然防止</p> <p>【主な取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 確実な定期測定と異常時の対応 <p style="text-align: center;">環境データは最終ページに記載</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特定化学物質管理の充実 <ol style="list-style-type: none"> 1) PRTR対象物質の使用量把握と報告 (対象354物質中 25物質使用) <p>使用25物質中 届出対象物質</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ トルエン ・ キシレン ・ 亜鉛の水溶性化合物 ・ n-ヘキサン ・ 1,2,4-トリフルオロベンゼンの5物質 2) 劇毒物管理方法の維持 	<p>環境目的 法規制値、自主基準値 未達成件数 0件の維持</p> <p>(件) 年度 未達成件数推移表</p>  <p>1) PRTR対象物質と使用量</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 10px;">届出規制量</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-left: 10px;">使用量</div> </div>  <p style="text-align: center;">県への報告を実施 評価</p> <p>2) 「化学物質管理規定」 「環境保全指定施設管理規定」 に従った現場点検の実施 規定通り維持されていることを確認 評価</p>																					

環境マネジメント

環境保全取り組み

取り組み項目	評価指標と実績																																							
<p>廃棄物低減委員会</p> <p>ゼロエミッションを目指し、紙類、プラスチック類を中心に再資源化を進め、廃棄量を低減し、資源保護に寄与する</p> <p>【主な取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・塗装スラッジ（埋立ごみ）を、セメント材料としてリサイクル化 ・廃プラB（ビニール類）の高温焼却化 ・陶磁器、ガラス類の破碎・選別によるリサイクル化 ・廃棄物の分別徹底による焼却ごみの低減 	<p>【埋め立てごみ】</p> <p>環境目的 埋め立て廃棄物の低減 （'01年度比 99%減）</p> <p>10年度目標 3.4 トン以下 10年度実績 1.27 トンで目標達成</p> <p>埋立ごみ排出量推移</p> <table border="1"> <caption>埋立ごみ排出量推移 (トン)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>06年度</td> <td>3.40</td> <td>5.26</td> </tr> <tr> <td>07年度</td> <td>3.40</td> <td>2.41</td> </tr> <tr> <td>08年度</td> <td>3.40</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>09年度</td> <td>3.40</td> <td>1.74</td> </tr> <tr> <td>10年度</td> <td>3.40</td> <td>1.27</td> </tr> </tbody> </table> <p>07年以降 埋立ごみ 3.4トン以下を達成</p> <p>【焼却ごみ】</p> <p>環境目的 10年度までに 売り上げ高当り 05年度実績比 5.0 %減</p> <p>10年度目標 273 kg /億円以下 10年度実績 240 kg /億円 で目標達成</p> <p>焼却ごみ排出量推移</p> <table border="1"> <caption>焼却ごみ排出量推移 (kg/億円)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>05年度</td> <td>287</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>06年度</td> <td>285</td> <td>233</td> </tr> <tr> <td>07年度</td> <td>282</td> <td>234</td> </tr> <tr> <td>08年度</td> <td>279</td> <td>205</td> </tr> <tr> <td>09年度</td> <td>276</td> <td>193</td> </tr> <tr> <td>10年度</td> <td>273</td> <td>240</td> </tr> </tbody> </table>	年度	目標値	実績値	06年度	3.40	5.26	07年度	3.40	2.41	08年度	3.40	0.00	09年度	3.40	1.74	10年度	3.40	1.27	年度	目標値	実績値	05年度	287	-	06年度	285	233	07年度	282	234	08年度	279	205	09年度	276	193	10年度	273	240
年度	目標値	実績値																																						
06年度	3.40	5.26																																						
07年度	3.40	2.41																																						
08年度	3.40	0.00																																						
09年度	3.40	1.74																																						
10年度	3.40	1.27																																						
年度	目標値	実績値																																						
05年度	287	-																																						
06年度	285	233																																						
07年度	282	234																																						
08年度	279	205																																						
09年度	276	193																																						
10年度	273	240																																						

補給金型再資源活用（プロジェクトチーム活動）

2005年度以降、「補給金型再資源活用」は、生産管理部の定常活動として継続しています。

【主な取り組み】

旧型補給の一括生産を提案をして、旧型金型を新規の金型の再製作に供する。

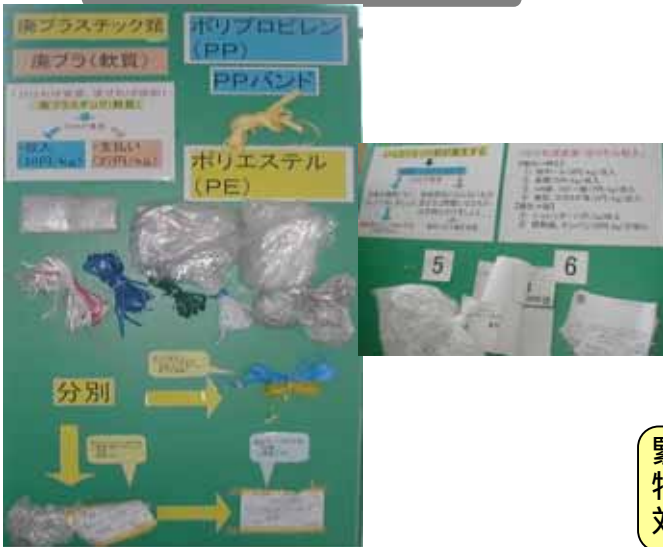
年度実績 2005年～2010年

	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
金型再利用 実績 (t)	8,525	8,078	6,354	4,708	8,135	8,115

環境教育・訓練

環境教育

ゴミの分別教育 現場教育板



緊急事態訓練

塗装工程 緊急事態対応訓練実施風景



緊急事態発生可能性施設について、14施設を特定し、年間計画書に織り込んで緊急事態対応訓練を実施しています。

社会貢献活動

コミュニケーション

毎年8月に、【サマーフェスティバル】を当社駐車場で実施し、近隣住民の方々との情報交換の場として、開催しています。



地域社会

定期的に本社工場及び額田工場周辺のゴミ拾いを、実施しております

本社工場



工場周辺のゴミ拾い風景

額田工場

地域貢献活動



工場周辺のごみ拾い風景

環境データ (2010年度)

本社工場

大気

対象施設 貫流ボイラー 4基

測定日 2回/年

項目	法規制	県条例	安城市協定	自主基準値	施設	測定値	評価
ばいじん	-	0.30 g/m ³ N 以下	0.10 g/m ³ N 以下	0.08 g/m ³ N 以下	1号機	0.001 未満	
					2号機	0.001 未満	
					3号機	0.001 未満	
					4号機	0.001 未満	

水質

対象施設

- 排水処理施設
- 酸又はアルカリによる表面処理施設 3基
- し尿浄化槽

安城市公害防止協定に基づく報告 下記5項目 月1回報告

項目	法規制	県条例	安城市協定	自主基準値	実績		
					最小値	最大値	評価
PH (水素イオン濃度)	5.8~8.6	-	6.0~8.5	6.2~8.2	6.5	7.2	
BOD (生物化学的酸素要求量)	160 mg/l以下	25	20	16	1.6	9.6	
SS (浮遊物質)	200 mg/l以下	30	20	16	1.0	2.0	
n-ヘキサン (油分)	5 mg/l以下	-	4		0.5	1.5	
大腸菌群数	3000 個/cm ³ 以下	-	1000	800	30	30	

安城市公害防止協定に基づく 年1回の測定報告の対象物質は以下の14項目です。
フェノール、銅、亜鉛、溶解性鉄、溶解性マンガン、クロム、フッ素、
カドミウム、シアン、有機リン、6価クロム、砒素、総水銀、アルキル水銀

10月6日採取し、11月8日 安城市に測定結果を報告
(全て協定値範囲内)

臭気

安城市公害防止協定に基づく報告はなし

自主的に測定管理実施(1回/年)

項目	法規制	県条例	安城市協定	自主基準値	実績	
					測定値	評価
臭気指数 敷地境界 風上	15以下	15以下	15以下	12以下	10未満	
臭気指数 敷地境界 風下	15以下	15以下	15以下	12以下	10未満	

環境データ (2010年度)

額田工場

岡崎市 環境の保全に関する協定書に基づく報告 年1回報告

大気

対象施設 なし 測定・報告なし

水質

対象施設 浄化槽のみ 生活環境6項目の測定と報告

項目	法規制	県条例	岡崎市協定	自主基準値	実績	
					測定値	評価
PH (水素イオン濃度)	水質に関する 特定施設が ないので 法規制・県の条例 に該当なし	-	5.8 ~ 8.6	6.4 ~ 7.7	7.2	
BOD (生物学的酸素要求量)			20	16	6.8	
COD (化学的酸素要求量)			20	16	8.0	
SS (浮遊物質)			20	16	11.0	
n-ヘキサン (油分)			2	1.8	0.7未満	
大腸菌群数	3000 個/cm ³ 以下	-	300	240	44	

臭気

対象施設なし 今後対象施設設置時に計測する。

項目	法規制	県条例	岡崎市協定	自主基準値	実績	
					測定値	評価
臭気指数 敷地境界 風上	18 以下	18 以下	18 以下	14.4 以下	10未満	
臭気指数 敷地境界 風下	18 以下	18 以下	18 以下	14.4 以下	10未満	